

## 塩谷南那須地区PTA指導者研修 兼家庭・地域いじめ対策教育支援事業 地域「アクションミーティング」が 開催されました



・研究主題「豊かな心を育てるPTA活動」  
・7月29日（水）矢板市文化会館  
・学校のPTA活動に関わる方157名が参加  
前半は、**社会人落語家の二松亭ちゃん平氏**に講演をしていただきました。「落語のちから～子どもたちの笑顔のために～」という演題で、望ましい人間関係の作り方や大人（保護者・教師）と子どものコミュニケーションの取り方について、御自分の体験談を交えながら話をしていただきました。難しいテーマではありましたが、落語を用いて話してくださったので、肩に力を入れずに聞くことができましたと参加者の方々に好評でした。



後半は、「いじめのない社会をつくろう！～今、大人が子どものためにできること～」というテーマで分散会を行いました。

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校に関わる方が、同じ中学校区ごとにグループになって分散会を行いました。限られた時間ではありましたが、どのグループもいじめ防止に向けた活発な話し合いが行われ、たくさんの意見が出されました。各グループから出された主な話題を下記に紹介しますので、今後のPTA活動で参考にさせていただけたら幸いです。

### いじめのない社会をつくるために、大人(PTA)が実践できそうなもの

(分散会の話題から)

- ・親同士のコミュニケーションをとる機会を設ける。(学年部会にも積極的に参加する。)  
PTA活動の時、名札を付け、親同士早く知り合えるようにするのもよい。
- ・奉仕作業や親子ふれあい活動等、親子で同じ作業ができるものを設定する。
- ・親が子どもの前で人の悪口などを言わない。また、言葉遣いも気をつける。
- ・携帯、IT関係は、親子でルールを決めて使用させるようにする。
- ・いじめ防止に関する内容で、親子で聞ける講演会を設ける。
- ・地域ぐるみであいさつ運動を実施する。
- ・他校との交流会を実施する。(〇〇小学校と〇〇小学校など)
- ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が交流する機会を設定する。
- ・地域の行事を広め、参加する。
- ・学校での「いじめ」対策の授業や取り組みを、家庭にもしっかりと知らせる。  
その上で、学校・家庭の両輪で協力して足並みをそろえて取り組む。 等



# 放課後子ども教室を紹介します！

## 「放課後子ども教室」を知っていますか？

「学童保育」は耳にしたことがあると思いますが、「放課後子ども教室」は初めて聞くという方もいるのではないのでしょうか。大きな違いは、**放課後子ども教室…文部科学省**  
**放課後児童クラブ（学童保育）…厚生労働省**  
というように、それらを担当している機関が違うのです。ただ、どちらも「子どもたちの健全な成長のために」という目的は一緒です。

今回は、塩谷南那須地区で国や県の補助金を活用しながら活動している教室の中から実際に見学させていただいた3教室を紹介いたしました。那須烏山市には、「やまどん教室」もあります。どの教室も運営や指導に関わる方の気持ちの温かさと、安心できる環境の中で笑顔で生き生きと活動する子どもたちの姿が印象的でした。

## 「西の森ふれあいスクール」

場所：矢板市立西小学校

参加人数：17名

開催：平日放課後及び長期休業日  
学習アドバイザー等約30名

（地域の方々や矢板地区民生委員の方も協力）

\*コーディネーター：土屋あゆ奈さん

放課後になると、子どもたちが元気なあいさつをしながら教室に入ってきます。「西の森ふれあいスクール」は、「子どもらしい自由な雰囲気大切に」ということでスタートしたのですが、素直さだけでなく、あいさつや正しい言葉遣いもできていることから、指導される方のていねいな配慮を感じました。



## 「ここなす教室」

場所：那須烏山市こども館

参加人数：20名

開催：毎週水曜日の放課後  
学習アドバイザー4名

\*コーディネーター：相田夏代さん

午後3時を過ぎると、道路向かいの烏山小学校から元気な子供たちの声が聞こえてきます。「こんにちは。」と元気なあいさつをした後は、学習アドバイザーからその日の説明を聞き、宿題に取りかかります。低中学年児童が多くいますが学習が終わると全員で外遊びをしています。学年に関わらず、仲良く遊んでいる姿が印象的でした。



## 「からすまる教室」

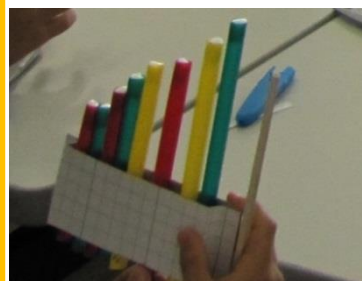
場所：那須烏山市南公民館

参加人数：40名

開催：長期休業中（夏休み9日間）  
学習アドバイザー等約10名

\*コーディネーター：相田夏代さん

烏山小、境小、七合小の子どもたちを対象に、夏休み中の活動をしています。体験活動が中心で、この日はアミゴス・デ・モリヤ（学校関係者と市職員のボランティア）5名の方が演奏会を開いた後、アンデス地方のアミゴス・サンポーニャという楽器作りを支援しました。太めのストローと工作紙で作られ、最後は全員で楽しく合奏をすることができました。



\*コーディネーター…地域や学校、放課後児童クラブ等と総合的な調整をしている方のこと。

あ  
と  
が  
き

ある小学校で、5年生が国語の時間に俳句作りを行っていました。日常の感動を十七音で伝えようという活動で、一人の女の子が「中秋の名月」という季語を事前に調べ、作品作りに生かしていました。慌ただしい日常の中で日本の四季を思い出し、ふと外の景色に目を向けるきっかけになりました。みなさんは、どんな言葉で秋を感じますか。



塩谷南那須教育事務所  
ふれあい学習課

TEL：0287(43)0176

FAX：0287(43)0535